

30【P1】I-003

分子内トランスアミデーションを鍵工程に用いた Pseudodistomin A、B の合成研究
○田中 憲一¹, 前嶋 拓哉¹, 澤西 啓之¹ (北陸大薬)

【目的】 Pseudodistomin A および B は小林らにより沖縄産ホヤ Pseudodistoma kanoko より単離、構造決定された生理活性ピペリジナルカロイドである。今回、分子内トランスアミデーション反応を鍵工程に用いて、これらの共通合成中間体の簡便な合成法を検討する。

【実験・結果】D-グルタミン酸より誘導した N-Boc γ -ラクタム体 (**3**) に接触還元 (MeOH-H₂O, 3 atm, Pd-C) を行い、 δ -ラクタム体 (**4**) を収率 80% で得た。 **4** を Boc 保護化の後、LiEt₃BH 還元を行い α -ヒアミナル体 (**5**) とし、引き続き Allyl tributyltin-TBDMSOTf を用いてアリル化を行い (**6**) を立体選択的に得た。 **6** は BH₃・SMe₂ 還元によりアルコール体 (**8**) に導いた。

